



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月25日

上場取引所 東

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社  
 コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 武田 安夫  
 (氏名) 須多 敦子

TEL 079-235-6005

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	37,578	△6.6	2,197	△4.0	2,355	14.5	1,553	105.9
25年3月期第1四半期	40,239	△4.7	2,288	△33.1	2,057	△38.3	754	△62.4

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 2,987百万円 (780.2%) 25年3月期第1四半期 339百万円 (△85.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	9.63	—
25年3月期第1四半期	4.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	200,562	100,136	49.6
25年3月期	198,771	97,151	48.6

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 99,564百万円 25年3月期 96,638百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	0.00	2.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、定款において9月30日(第2四半期末日)および3月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄をご参照ください。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	77,000	0.5	3,500	22.6	3,500	53.8	2,200	63.8	13.64
通期	162,000	17.1	6,800	348.3	6,500	289.2	4,000	685.6	24.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	167,124,036 株	25年3月期	167,124,036 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	5,791,719 株	25年3月期	5,787,262 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	161,335,775 株	25年3月期1Q	161,353,129 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。)

当期の配当につきましては、事業環境の先行きが不透明であるため、現時点では具体的な金額は未定であります。配当予想額につきましては、今後の事業環境を見極めつつ検討を行い、開示が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

## 【添付資料】

### (目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
参考資料	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期（平成25年4月1日～平成25年6月30日）のわが国経済は、円高の修正や政府の経済政策への期待などにより、持ち直しの傾向を明らかにしました。また、世界経済も新興国の経済成長鈍化や欧州景気の低迷などがあるものの、米国経済が堅調であったことなどにより緩やかに回復しました。

特殊鋼業界におきましては、昨年秋口に、尖閣問題を契機として自動車分野を中心とする需要の停滞とそれに伴う大幅な在庫調整が発生しましたが、今年に入ってから順調な回復を見せております。但しこの間、第1四半期の特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は、需要が比較的堅調だった前年同期に比べ減少しました。

このような中、当社グループの当第1四半期の売上高は、販売数量が前年同期に比べ減少したことなどにより、前年同期比26億61百万円減の375億78百万円となりました。経常利益は、販売数量の減少や電力・燃料価格の上昇などがありましたが、コストダウンの実施に注力したことに加え、人件費の減や為替差益の計上などにより、前年同期比2億97百万円増の23億55百万円となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損や固定資産除売却損の減少などにより、前年同期比7億99百万円増の15億53百万円となりました。

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

**鋼材事業**

昨年発生した需要の停滞とそれに伴う大幅な在庫調整からの回復は順調に進みましたものの、需要が比較的堅調だった前年同期に比べ、当第1四半期の販売数量が減少したことなどにより、売上高は前年同期比32億61百万円減の338億10百万円となりました。営業利益は、販売数量の減少や電力・燃料価格の上昇などにより、前年同期比6億50百万円減の16億99百万円となりました。

**特殊材事業**

耐熱・耐食合金、金属粉末製品などの製造および販売を行っており、当第1四半期の売上高は前年同期比4億6百万円増の20億12百万円、営業利益は前年同期比1億円増の3億54百万円となりました。

**素形材事業**

鋼材事業と同様、当第1四半期の販売数量が減少したことなどにより、売上高は前年同期比46百万円減の40億71百万円、営業利益は前年同期比93百万円減の3億74百万円となりました。

**その他**

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、当第1四半期の売上高は前年同期比64百万円減の2億23百万円、営業損益は6百万円の損失（前年同期は0百万円の利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産残高は、現金及び預金、有形固定資産は減少したものの、受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加などにより、2,005億62百万円（前期末比17億90百万円増）となりました。

負債残高は、支払手形及び買掛金は増加したものの、借入金の減少などにより、1,004億25百万円（前期末比11億94百万円減）となりました。

純資産残高は、四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加などにより1,001億36百万円（前期末比29億85百万円増）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後につきましては、円高の修正や政府の経済政策により、わが国経済の回復基調の継続が期待される一方で、新興国の経済成長鈍化や国際競争の激化、そのような環境下における、わが国電力価格値上問題などもあり、当社グループをとりまく事業環境は、引き続き楽観を許さない状況で推移するとみられます。

こうした中、当社グループとしては、非価格競争力の強化に向けた取り組みに一層注力するとともに、需要動向に即した生産の実施やコストダウンの徹底など内部努力を重ね、需要家ニーズに的確に対応した高品質の特殊鋼を安定供給できる事業体制の構築へ向けてグループの総力を挙げて取り組んでまいります。

以上を総合的に勘案し、平成26年3月期第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、平成25年4月30日に公表させていただいた数値を下表のとおり修正いたしました。

## 平成26年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成25年4月30日)	百万円 75,000	百万円 2,300	百万円 2,000	百万円 1,200	円 銭 7.44
今回修正予想(B)	77,000	3,500	3,500	2,200	13.64
増減額(B-A)	2,000	1,200	1,500	1,000	—
増減率(%)	2.7	52.2	75.0	83.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	76,582	2,855	2,276	1,342	8.32

## 平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成25年4月30日)	百万円 160,000	百万円 5,600	百万円 5,000	百万円 3,000	円 銭 18.59
今回修正予想(B)	162,000	6,800	6,500	4,000	24.79
増減額(B-A)	2,000	1,200	1,500	1,000	—
増減率(%)	1.3	21.4	30.0	33.3	—
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期通期)	138,306	1,516	1,670	509	3.16

(注)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,684	16,565
受取手形及び売掛金	41,433	48,386
商品及び製品	10,200	11,302
仕掛品	21,263	21,509
原材料及び貯蔵品	14,316	15,566
その他	4,752	4,122
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	114,644	117,446
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	46,033	44,482
その他(純額)	22,906	22,383
有形固定資産合計	68,939	66,866
無形固定資産	757	732
投資その他の資産	14,429	15,518
固定資産合計	84,127	83,116
資産合計	198,771	200,562
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,341	15,354
短期借入金	40,391	35,456
未払法人税等	149	228
賞与引当金	1,410	711
その他	9,763	9,562
流動負債合計	65,057	61,314
固定負債		
長期借入金	33,936	36,496
退職給付引当金	935	980
役員退職慰労引当金	72	76
環境対策引当金	213	57
その他	1,405	1,501
固定負債合計	36,562	39,111
負債合計	101,620	100,425

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,182	20,182
資本剰余金	22,596	22,596
利益剰余金	54,474	56,028
自己株式	△1,772	△1,774
株主資本合計	95,480	97,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,421	2,220
為替換算調整勘定	△263	311
その他の包括利益累計額合計	1,158	2,532
少数株主持分	512	572
純資産合計	97,151	100,136
負債純資産合計	198,771	200,562

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	40,239	37,578
売上原価	34,666	32,347
売上総利益	5,573	5,230
販売費及び一般管理費	3,284	3,033
営業利益	2,288	2,197
営業外収益		
受取利息	12	11
受取配当金	70	60
為替差益	—	286
その他	88	80
営業外収益合計	170	438
営業外費用		
支払利息	183	167
その他	218	112
営業外費用合計	401	280
経常利益	2,057	2,355
特別利益		
土地売却益	—	4
特別利益合計	—	4
特別損失		
固定資産除売却損	87	17
投資有価証券評価損	488	8
特別損失合計	576	26
税金等調整前四半期純利益	1,480	2,333
法人税、住民税及び事業税	100	183
法人税等調整額	615	578
法人税等合計	716	761
少数株主損益調整前四半期純利益	764	1,571
少数株主利益	9	17
四半期純利益	754	1,553



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	764	1,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△689	798
為替換算調整勘定	237	365
持分法適用会社に対する持分相当額	26	251
その他の包括利益合計	△425	1,415
四半期包括利益	339	2,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	302	2,927
少数株主に係る四半期包括利益	36	59

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,493	1,605	4,117	40,217	22	40,239	—	40,239
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,578	—	—	2,578	264	2,843	△2,843	—
計	37,072	1,605	4,117	42,795	287	43,083	△2,843	40,239
セグメント利益	2,349	253	467	3,071	0	3,071	△782	2,288

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。  
 2. セグメント利益の調整額△782百万円は、棚卸資産の調整額△793百万円、セグメント間取引消去17百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△7百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,471	2,012	4,071	37,555	22	37,578	—	37,578
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,339	—	—	2,339	200	2,539	△2,539	—
計	33,810	2,012	4,071	39,894	223	40,117	△2,539	37,578
セグメント利益 又は損失(△)	1,699	354	374	2,427	△6	2,420	△222	2,197

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。  
 2. セグメント利益又は損失の調整額△222百万円は、棚卸資産の調整額△243百万円およびセグメント間取引消去20百万円であります。  
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 参考資料

## 平成26年3月期 第1四半期決算発表

## 1. 当第1四半期の業績と業績予想

(単位：百万円、%)

	当第1四半期 (実績)	前第1四半期 (実績)	増減額	増減率	業績予想	
					第2四半期 累計期間	通期
売上高	37,578	40,239	△2,661	△6.6	77,000	162,000
営業利益	2,197	2,288	△90	△4.0	3,500	6,800
経常利益	2,355	2,057	297	14.5	3,500	6,500
(ROS)	(6.3)	(5.1)	(1.2)		(4.5)	(4.0)
当期純利益	1,553	754	799	105.9	2,200	4,000
設備投資	366	8,225	△7,859	△95.5		5,000
減価償却費	2,628	2,564	64	2.5		11,000
棚卸資産評価損影響	241	132	108	81.7		
〃 を除く経常利益	2,114	1,924	189	9.8		

(参考) 四半期業績推移

(単位：百万円、%)

	25年3月期				通期	26年3月期
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期		4-6月期
売上高	40,239	36,342	29,768	31,955	138,306	37,578
営業利益	2,288	567	△1,523	185	1,516	2,197
経常利益	2,057	218	△1,208	602	1,670	2,355
(ROS)	(5.1)	(0.6)	(△4.1)	(1.9)	(1.2)	(6.3)
当期純利益	754	588	△459	△374	509	1,553

## 2. 当第1四半期の経常利益増減要因 (対前年同期)

(単位：億円)

増益要因		減益要因	
1. 変動費のコストダウン	7	1. 原燃料価格	10
2. 固定費の減少	5	2. 販売数量・価格・構成	7
3. 営業外損益	4		
4. 棚卸資産評価損 他	4		
計 (A)	20	計 (B)	17
		差引 (A) - (B)	3